

第2期豊川市まち・ひと・しごと創生総合戦略（案）の 意見募集結果と市の考え方

提出された意見等の要旨、意見等に対する市の考え方は次のとおりです。

なお、単に賛否の結論だけを示した意見、第三者を誹謗中傷するもの等についてはその内容を公表せず、意見等に対する市の考え方は示しません。

項目：「しごとづくり」に関すること

No.	意見等の要旨	市の考え方
1	<p>RPAの導入</p> <p>他自治体ではRPAの導入による行政事務等の削減に成功している。事務作業とRPAの相性は良く、大企業などにも推奨されれば、その分育児や余暇も効率的に改善されるのではないかと。RPAはAIとは違い、ソフトウェアの一つであるため、安価に行政業務の効率改善と人員及び費用の流動性が生まれるのではないかと。</p>	<p>RPAの導入については、基本目標④「安全で快適に暮らせるまちづくり」の施策(3)「地域マネジメントと民間活力の導入」に主な事業として位置づけています。昨年12月に国が策定した第2期総合戦略においても、横断的な目標として「地域におけるSociety5.0の推進」を位置づけており、本市の第2期総合戦略においてもこれを反映しています。また、民間が持つ技術やノウハウを積極的に活用し、公共サービスの維持、向上を図ることを施策に位置づけていることから、クラウド化も含め、官民連携による横断的な取組として推進していくにあたり、今後の施策の参考とさせていただきます。</p>
2	<p>行政・民間のクラウド化</p> <p>昨今のコミュニケーション能力の過剰な期待から、自らドロップアウトする若者や就学児を見かける。しかし、クラウド上で業務や勉強が可能になることで場所や人に影響を受けない活動を個人でできる。また、企業側もクラウドワーカーと呼ばれる人々に仕事を発注することで大きなコスト削減にもつながることから、行政・民間のクラウド化を提案する。</p>	<p>RPAの導入については、基本目標④「安全で快適に暮らせるまちづくり」の施策(3)「地域マネジメントと民間活力の導入」に主な事業として位置づけています。昨年12月に国が策定した第2期総合戦略においても、横断的な目標として「地域におけるSociety5.0の推進」を位置づけており、本市の第2期総合戦略においてもこれを反映しています。また、民間が持つ技術やノウハウを積極的に活用し、公共サービスの維持、向上を図ることを施策に位置づけていることから、クラウド化も含め、官民連携による横断的な取組として推進していくにあたり、今後の施策の参考とさせていただきます。</p>
3	<p>コワーキングスペースの確保</p> <p>WiFi環境さえ整っていればソフトウェアの開発や事務等オフィスが必要としなくても経済活動に参加でき、自立することができる。また、塾に行けない子どもたちがコワーキングスペースで自習をしたり、交流もできる。空き家や公民館の有効活用によるコワーキングスペースの確保が考えられる。</p>	<p>多様な働き方による経済活動への参画や子どもたちの交流に資するご意見の実現には、協働する民間との連携が必要であると考えます。今回の第2期総合戦略は、社会情勢の変化に対応し、官民連携を重視した計画としていますので、今後の施策の参考とさせていただきます。</p>

項目：「ひとの流れづくり」に関すること

No.	意見等の要旨	市の考え方
4	各地域に大変使いやすい図書館があり、とても便利である。文化活動を支える市内のホールの再評価も必要であり、文化面についての記載をもう少し手厚くしてもよい。	総合戦略に位置づけた事業は、実施後の取組評価を毎年度実施し、結果をホームページにて公表しています。文化面に関する事業については、「文化活動を通じた環境整備」として位置づけていますので、着実な取組推進につながるよう、今後の施策の参考とさせていただきます。

項目：「結婚・出産・子育ての希望をかなえ、誰もが活躍できる地域社会づくり」に関すること

No.	意見等の要旨	市の考え方
5	入園前の世代を支える、地域とつながることができる児童館の運営についても事業として位置づけがあるとよい。	当該目標の基本的方向は「子育てしやすい豊川市」といわれるような環境をつくるとしています。児童館については、子育て支援に関する施策（１）「安心して出産し、子どもが健やかに育つための支援」及び（２）「保育サービス・子育て支援サービスの充実と子育てにやさしいまちづくり」の複数分野に関係することから、今後の取組推進において、参考とさせていただきます。
6	障害者相談支援事業以外にも市で行っている事業は多岐にわたる。障害者の支援は、生活の安心をアピールできるポイントになることから、わかりやすい表現があるとよい。	総合戦略に位置づけた事業は、実施後の取組評価を毎年度実施し、結果をホームページにて公表しています。障害者の支援に関する多様な取組推進につながるよう、今後の施策の参考とさせていただきます。

項目：「安全で快適に暮らせるまちづくり」に関すること

No.	意見等の要旨	市の考え方
7	パーク・アンド・ライドの推進について、市内には駅が多くあり、駐車場を増やすのか、駐停車スペースを確保するのか、バスのルートの再検討なのか、コンパクトなまちづくりにつながる方向性が見えるとよい。	市内各駅の周辺に必要な取組の方向性は立地状況及び利用形態により駅ごとに異なるため、今後の取組推進において、参考とさせていただきます。